

報道関係者各位

2019年1月8日
ブッキング・ドットコム・ジャパン株式会社

インバウンド旅行者の日本での冬の楽しみ方を独自分析！ この冬の人気の旅行先最新ランキングを ブッキング・ドットコムが発表

【2019年1月8日、日本発表】

数々のユニークな宿泊施設と人々を繋げる世界最大級の宿泊予約サイト Booking.com（ブッキング・ドットコム）の日本法人ブッキング・ドットコム・ジャパン株式会社（本社：東京都港区 代表：アダム・ブラウステイン 以下：ブッキング・ドットコム）は、2018年から2019年にかけて「平成最後の冬休み」を日本で過ごした外国人旅行者に人気の都市ランキング(*)と、訪日外国人の日本での過ごし方を分析し発表します。

「平成最後の冬休み」に多くの日本人が過ごした人気旅行先である(*)、韓国・香港・台湾・タイ・シンガポール・アメリカ・イギリス・フランス。それではその8ヶ国からその時期に日本に観光しに来ている旅行者は、一体どこに滞在しているのか、東京や大阪などの著名な旅行先以外の地域に着目し、国ごとに異なる日本での過ごし方を独自に分析しながらご紹介します。

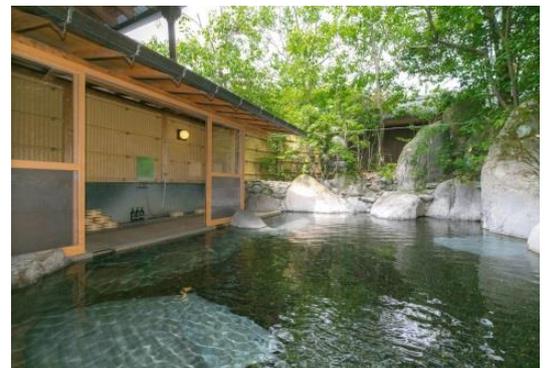
■東アジア — 近くの九州・沖縄が人気

	韓国	香港	台湾
1	大阪 (大阪)	東京 (東京)	東京 (東京)
2	福岡 (福岡)	大阪 (大阪)	大阪 (大阪)
3	東京 (東京)	京都 (京都)	京都 (京都)
4	札幌 (北海道)	福岡 (福岡)	那覇 (沖縄)
5	京都 (京都)	札幌 (北海道)	福岡 (福岡)
6	那覇 (沖縄)	名古屋 (愛知)	札幌 (北海道)
7	由布 (大分)	鹿児島 (鹿児島)	名古屋 (愛知)
8	北九州 (福岡)	高山 (岐阜)	富士河口湖 (山梨)
9	別府 (大分)	熊本 (熊本)	仙台 (宮城)
10	北谷 (沖縄)	那覇 (沖縄)	函館 (北海道)

韓国・台湾・香港からの旅行者に人気のエリア



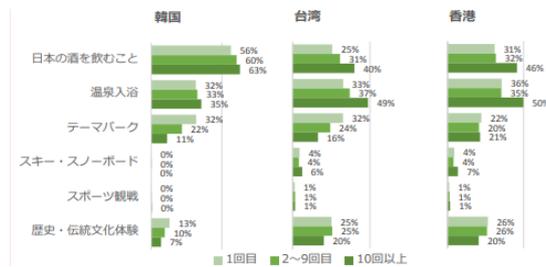
韓国・香港・台湾など、日本から近い国々からは、距離も近い九州や沖縄への旅行者が多くいることがわかりました。その中でも韓国からの旅行者は特に、由布や別府、熊本などの九州の温泉地を好んでいる傾向にあります。実際に、観光庁の調査によると(表1)、韓国・台湾・香港からの旅行者は、訪日の目的として「日本酒を飲むこと」の次に「温泉入浴」を選んでいることから、ただ観光地に行くだけではなく、「温泉」というアクティビティを楽しむ人が増えていることがわかります。



そして台湾からの旅行者のランキングでは、20位までに沖縄が

3都市もランクインしており、沖縄人気を伺い知ることができます。台湾から沖縄までは直行便で1時間程度と、その手軽さも人気の要因の一つと考えられます。

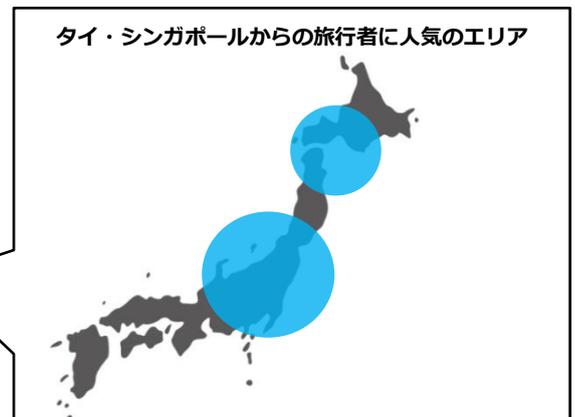
表1 訪日回数別日本滞在中の行動



観光庁「平成29年訪日外国人消費動向調査【トピックス分析】」より

■ 東南アジア — 冬に行くならやっぱり寒さをとことん楽しみたい！？

	タイ	シンガポール
1	東京（東京）	東京（東京）
2	大阪（大阪）	大阪（大阪）
3	札幌（北海道）	京都（京都）
4	高山（岐阜）	札幌（北海道）
5	名古屋（愛知）	福岡（福岡）
6	富士河口湖（山梨）	高山（岐阜）
7	京都（京都）	函館（北海道）
8	函館（北海道）	名古屋（愛知）
9	成田（千葉）	ニセコ（北海道）
10	福岡（福岡）	富士河口湖（山梨）

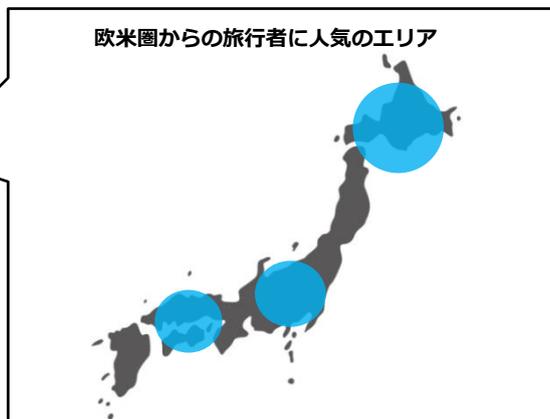


タイやシンガポールなど一年を通して気温が高い東南アジアの人々は、とことん日本の冬を楽しむことができるような寒い地域への渡航が多いということがわかりました。北海道などの著名な観光地はもちろん、高山などの豪雪地帯にも足を運んでいる傾向があります。雪は東南アジアでは絶対に味わうことができないからこそ、人気を集めていると推測ができます。また、富士山が美しい富士河口湖など、日本らしい景色が楽しめる旅行先も人気なことがわかりました。



■欧米圏 — ウィンタースポーツと世界遺産の二極化！？

	アメリカ	イギリス	フランス
1	東京（東京）	東京（東京）	東京（東京）
2	京都（京都）	京都（京都）	京都（京都）
3	大阪（大阪）	大阪（大阪）	大阪（大阪）
4	成田（千葉）	成田（千葉）	成田（千葉）
5	札幌（北海道）	札幌（北海道）	広島（広島）
6	箱根（神奈川）	広島（広島）	奈良（奈良）
7	福岡（福岡）	箱根（神奈川）	箱根（神奈川）
8	山ノ内（長野）	名古屋（愛知）	富士河口湖（山梨）
9	広島（広島）	富士河口湖（山梨）	日光（栃木）
10	白馬（長野）	函館（北海道）	高山（岐阜）



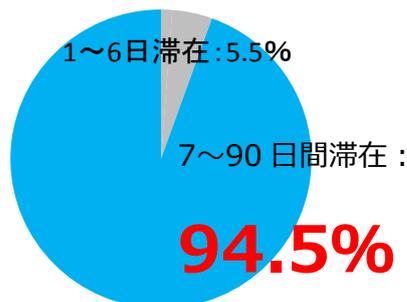
欧米圏からの旅行者の間では、10位までは東京・京都・大阪・北海道などの日本の観光地として有名な地域が人気のなか、興味深いのは成田がランクインしていることです。理由としては、成田空港は欧米からの飛行機の離発着が多いため、空港からのアクセスがよい成田市での宿泊者数が多いことが予想されます。



また、11位以降はアメリカ・イギリスと、フランスで特徴が大きく分かれる結果となりました。アメリカやイギリスからの旅行者には、ニセコや白馬などのスキーやスノーボードにぴったりの旅行先が人気で、ブッキング・ドットコムのカチコミでも「雪質が最高だった！」などのコメントが多くあり、ヨーロッパのアルプスでは味わうことができないような「JAPOW」と呼ばれるパウダースノーを目当てにしている旅行者もいます。

一方のフランスからの旅行者は、11位以降もウィンタースポーツを楽しむような渡航先は少なく、アートの街として知られる直島や奈良・日光・宮島など世界遺産がある街がランクインしており、人気であることがわかりました。観光庁の発表によると、フランス人は「7～90日間」の長期滞在者が95%と大半を占めている（表2）ことから、長期滞在し、地方の世界遺産などを巡っていることが推測できます。

表2 訪日フランス人の滞在日数



観光庁「平成29年訪日外国人消費動向調査」より

*ランキング結果は、ブッキング・ドットコムを通して 2018年 12月 28日～2019年 1月 6日にチェックイン予定の予約状況をもとに作成したものです。2018年 12月 28日時点の予約状況のため、実際の宿泊数とは異なる場合がございます。

###

日本におけるブッキング・ドットコム

2009年に日本支社を設立。現在国内6ヶ所（東京2ヶ所・大阪・福岡・札幌・沖縄）のオフィスで地域に根ざした事業を展開。国内約350名以上の従業員を擁し、内200名以上がカスタマーサービスのスタッフとしてお客様のサポートを実施。ホテルから旅館、バケーションレンタルまで、約2万軒以上の様々な国内の宿泊施設やアクティビティの予約が可能です。

ブッキング・ドットコムについて

1996年にアムステルダムにて設立されたブッキング・ドットコムは、オランダの小さなスタートアップ企業から、世界最大のオンライン宿泊予約サイトに成長しました。Booking Holdings Inc. (NASDAQ : BKNG) の一部であるブッキング・ドットコムは現在、世界70カ国・198のオフィスを設け、1万7,000人以上の従業員が所属しています。世界中の人々に世界を体験していただくことを使命とし、気軽な旅を実現できるよう、最新の技術を取り入れています。ブッキング・ドットコムでは、アパートメント、家族経営のB&B（ベッド&ブレイクファースト）スタイルの施設から、5つ星の高級リゾート、ツリーハウス、さらにはイグルーに至るまで、世界最大の宿泊施設数を提供しています。ブッキング・ドットコムのウェブサイトとモバイルアプリは43の言語で利用でき、229の国・地域、14万以上の目的地で登録されているリスティング（掲載室数）は2,900万件以上となります。毎日、150万部屋以上が予約されており、お客様は24時間いつでも43の言語でサポートを受けることができます。ビジネスやレジャー等の用途に限らず、ブッキング・ドットコムで簡単に理想的な宿泊施設の予約が無料で行えます。

【報道関係者各位の問い合わせ先】

Booking.com PR 事務局（株式会社イニシャル内） 担当：水谷／別役／宮下
TEL：03-6821-5730 FAX：03-5572-6065 MAIL：booking.com@vectorinc.co.jp